

生まれ変わる 琵琶湖博物館

2016年夏、
第1期リニューアルオープン



滋賀県立
琵琶湖博物館

LAKE BIWA MUSEUM

琵琶湖博物館リニューアル始まります

滋賀県立琵琶湖博物館

●「湖と人間」をテーマにした総合博物館

滋賀県立琵琶湖博物館は、琵琶湖とその集水域および淀川流域の自然、歴史、暮らしについての理解を深め、地域の人々とともに「湖と人間」の新しい共存関係を築いていくことを使命として1996年に開館しました。開館から18年で900万人の人々に利用されています(2014年度末)。

琵琶湖博物館は、琵琶湖岸烏丸半島に位置し、湖をテーマにした博物館としては日本で最大規模であり、琵琶湖と人間の関わりについての展示、淡水専門の水族展示を含め多彩な展示を行っています。



琵琶湖博物館は琵琶湖の湖畔、烏丸半島にあります

●琵琶湖と環境のすべてがわかる多彩な展示



[A 展示室]
琵琶湖のおいたち



[B 展示室]
人と琵琶湖の歴史



[C 展示室]
琵琶湖の環境と人びとの暮らし



[水族展示]
淡水の生き物たち

●交流の場としての博物館



企業の生態系保全活動に協力



夏休み自由研究講座

リニューアルでめざす「新・琵琶湖博物館」

展示交流空間の再構築を通じて、「湖と人間」の未来を考える多様な視点を提示し、タイムリーでわかりやすい情報発信に努め、より多くの人々にご利用いただく博物館をめざします。

●C展示室と水族展示からスタート

第1期として開館20周年にあたる平成28年度をめざし、水族棟の1階部分の水族展示、2階部分のC展示室をリニューアルします。引き続き、平成30年度を目途に第2期、さらに平成32年度を目途に第3期のリニューアルを計画しています。

平成28年度
(開館20周年)
第1期リニューアル
[C展示室]
[水族展示]

平成30年度
第2期
リニューアル
[交流空間]

平成32年度
第3期
リニューアル
[A展示室]
[B展示室]

体感! 驚きと感動、学びと発見が生まれる展示

●新展示の特徴

体感型・参加型展示や実物資料、交流の場の増加などにより、子どもから大人までが楽しめる、驚きと感動、学びと発見の機会に満ちた発信力の高い展示となります。

驚き
と
感動

見えなかった世界が見えてくる展示

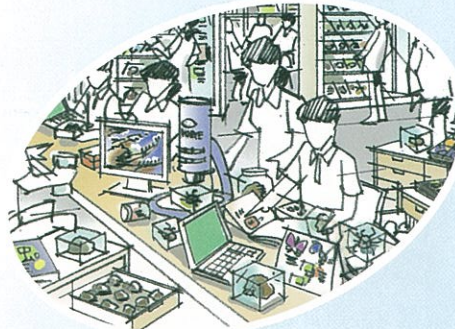
琵琶湖から森林まで、身近な景観を入口に、環境・人間・生き物の関係性を伝え、生き物の生き生きとした姿やふだん目にするののない生き物などを紹介することで、これまで見えなかった世界が見えてくる驚きと感動にあふれた展示となります。



学び
と
発見

タイムリーでわかりやすい展示

新たな知見・環境問題等についてわかりやすく情報を提示することにより、環境や生き物、私たちの暮らしとの間にある「つながり」に気づき、来るたびに新たな発見や学びがある展示となります。



●地域での実践・行動を担う人が育つ博物館へと進化

多様な人々が集い、交流や対話生まれ、環境への関心を深めて地域での活動を担う「人が育つ」博物館へと進化します。



展示室

琵琶湖地域のいま ～身の回りの環境と暮らし再発見～

琵琶湖岸から森林までの身近な景観を入り口に、環境・人間・生き物の関係性をわかりやすく示します。そこから身の回りの世界の中に潜むおもしろさを知ってもらい、博物館の屋外展示や交流事業とつなぎ、魅力あるフィールドへ誘います。

ヨシ原にはこんな生き物があるんだ

2 ヨシ原を歩いてみると
ヨシ原に分け入ったときに見える世界を、臨場感あふれるジオラマで紹介します。

田んぼは生命のゆりかご

3 田んぼをのぞいてみると
6月上旬の田んぼに無数の生物がうごめいている状態を20倍スケールのジオラマで表現します。

4 川から森へ
琵琶湖と川や森とのつながり、そこに住む生き物と人との複雑な関係を紹介します。

ボクのお気に入りの琵琶湖はこれ!

1 琵琶湖へ出かけよう
琵琶湖の魅力を伝え、理解の手助けとなる情報をわかりやすく提供します。

3. 田んぼをのぞいてみると

2. ヨシ原を歩いてみると

6. 生き物コレクション

4. 川から森へ

7. これからの琵琶湖

1. 琵琶湖へ出かけよう

5. 私たちの暮らし

間伐体験
シミュレーション!

来館者が参加して情報のやりとりができる!

琵琶湖から私たちの暮らしを考えてみよう

7 これからの琵琶湖
最新の研究成果やフィールド情報を提供します。

滋賀県は生き物の宝庫

6 生き物コレクション
琵琶湖地域に生息する多様な生き物や固有種を紹介します。

5 私たちの暮らし
現在と昔の暮らしに焦点をあて、次代に引き継ぐ琵琶湖について考える場を提供します。

湖と
未来を

水族展示

琵琶湖地域のいま ～水中の生き物と私たち～

琵琶湖に生息する様々な生き物を展示し、季節によって違う生き生きとした姿やふだん目にする事のない小さな生き物などを紹介します。また、琵琶湖のもつ生物多様性や食文化などの「生き物と人とのかかわり」を伝え、琵琶湖の価値を発信します。

1 琵琶湖の生き物とその環境

琵琶湖の沿岸帯、沖合、岩礁帯の生き物の多様性や生態を紹介します。

2 琵琶湖の生き物と人の暮らし

生き物と人との関わりを紹介し、よりよい関係を考えるきっかけを提示します。

3 川の生き物とその環境

1. 琵琶湖の生き物とその環境

2. 琵琶湖の生き物と人の暮らし

4. 水辺の鳥たち

7. 生きた化石 古代魚

9. マイクロアクアリウム

5. よみがえれ!! 日本の淡水魚

8. ふれあい体験室

6. 古代湖の世界

3 川の生き物とその環境

下流、中流、上流へと廻り、川に生息する生き物や生き生きとした生態を紹介します。

7 生きた化石 古代魚

絶滅せずに生き残ってきた古代魚と魚の進化や歴史を紹介します。

なぜ生きた化石と呼ばれているのだろう

8 ふれあい体験室

魚や水辺の生き物とのふれあいコーナーです。

魚やザリガニを触ってみよう

6 古代湖の世界

世界の代表的な古代湖を紹介し、琵琶湖の古代湖としての価値を再発信します。

4 水辺の鳥たち

水鳥の生息環境や生態を紹介します。

鳥が潜っている!

5 よみがえれ!! 日本の淡水魚

希少淡水魚とその保護について紹介します。

魚が減ってきたのはなぜ?

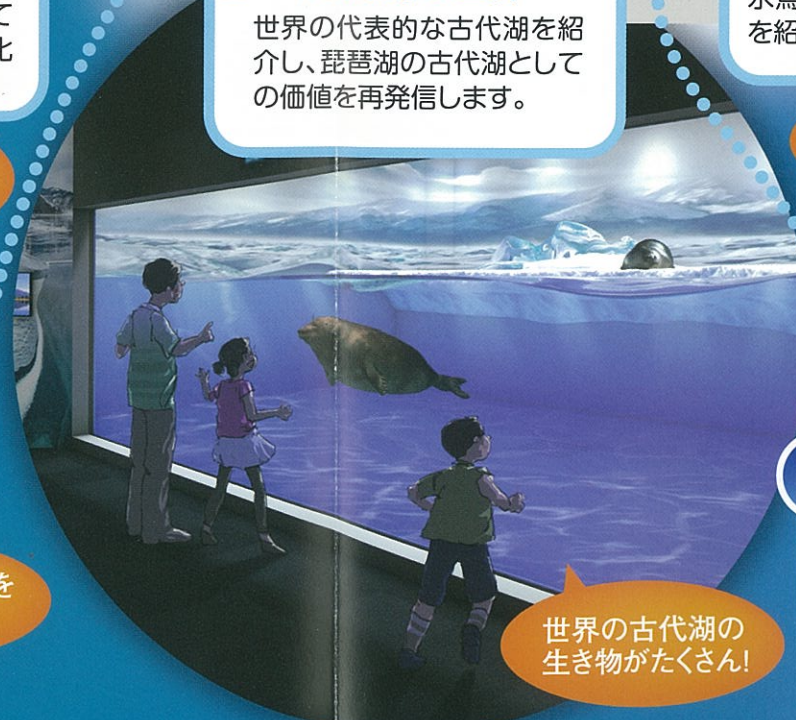
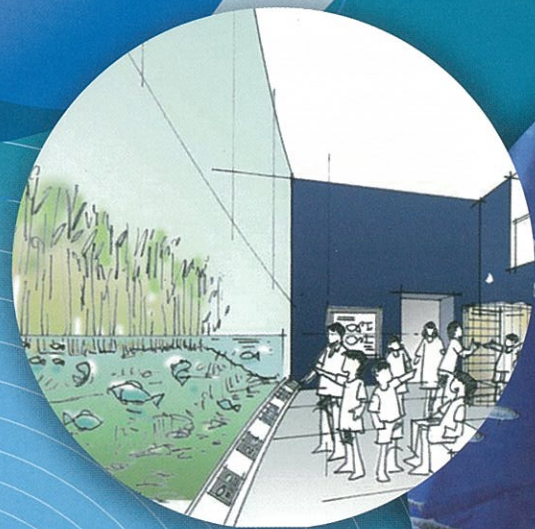
人間の考える

琵琶湖の中にある気分

ミクロの世界に迷い込んだみたい

琵琶湖の魚は美味しいぞ

魚がジャンプしている!



アクセス



■電車・バス

JR琵琶湖線「草津」駅下車、からすま半島行きバス25分

■自家用車

名神高速道路 瀬田西ICから約40分

栗東ICから約30分

新名神高速道路 草津田上ICから約40分



滋賀県立
琵琶湖博物館

LAKE BIWA MUSEUM

〒525-0001 滋賀県草津市下物町 1091
TEL 077-568-4811 FAX 077-568-4850
<http://www.lbm.go.jp>



印刷インキは環境にやさしい
植物油インキを使用しています